

改元！平成から令和へ

しみじみ思う、昭和は遠くなりにつけり

UTOは、平成4年に「青山」で創業し、以来平成とともに28年を過ごしてきました。昭和から平成は、昭和天皇がお亡くなりになり、悲しみの中で改元がなされましたが、今回は、天皇陛下のご存命中に改元が出来たことが何よりおめでたいと思います。

世界遺産のパリのノートルダム寺院が焼ける悲惨な映像が飛び込んで来ました。45年前、憧れのパリに着いて最初に訪れた処がこのノートルダム寺院でした。あの圧倒するような石造りの建物が火災を起こすなんて信じられないと思います。フランスの人達の悲しみはいかばかりか。一日も早く再建されることを願っています。



【東日本大震災被災者への寄付】

震災翌年から続けていた寄付を、5月22日、北上市役所を訪問し、玉澤副工場長から高橋市長へ寄付金をお届けしてきました。今年度は30万円で、7年合計が193万円になりました。募金頂きました皆様、本当にありがとうございました。



【ふるさと納税大苦戦】

UTOでは、北上市のふるさと納税で、過去3年連続で2億円前後の寄付を頂いていましたが、昨年度は1億6千万円と大きくダウンしました。性善説で始まったふるさと納税。いち早く気づいた一部の自治体の有志達が、汗をかき知恵を絞って返礼品を開拓し大きな成果が出始めました。

当初は見向きもなかったのに、寄附額が大きくなると、行政指導の「地場産品や返礼率3割を」「法律に書いていない」とけんか腰に、弁護士まで後ろに立てたりふり構わない寄附集めの一部の自治体。それなら立法化するしかないと言われ、法律が成立すると6月の施行までなら違法ではないとの確信犯で億単位のアマゾンポイントまで繰り出す厚かましさ。

当初から「コソコソと健気に頑張つて、ふるさと納税を育ててきた自治体は大迷惑を通り越して唾然。何か言おうものなら専門家を背に何倍にして帰ってくる反論をおそれ、零細業者は、あの人がい

なくなるのを黙って待つだけです。

【カシミアを仕舞う前に】

気温が上がり冬物を仕舞う時期ですが、冬に活躍してくれたニットをもう一度チェックして下さい。仕舞う前に、手洗いで頂けましたか？もし手洗いに自信がなかったら左記にアクセスして下さい。カシミアの洗い方を掲載しています。

<https://uto-knit.com/library/dictionary/howto>

もしドライクリーニングでしたら、戻ってきたときのビニール袋からは出して風通しをして下さい。「ニール」の中に揮発性の油が残っていたら、ニートを痛めてしまいます。

仕舞うときは必ず防虫剤を忘れないでください。防虫剤は空気より重い気体ですから一番上に置いてください。繊細で上等のカシミアは食害中も大好きです。すから気を付けてください。

もし、傷やほつれなどがありましたら、お気軽にご相談ください。愛情たっぷり制作した職人がお直しさせていただきます。



【青山・表参道界隈】

フロムファースト From-1st

ファッションの街青山はここから始まった

原宿からケヤキ並木の表参道通をずっと登ってくと広い青山通(国道246)にぶつかります。この表参道交差点は一見三叉路のように見えますがその先がみゆき通りと呼ばれる細い通りがあります。表参道通りは表参道ヒルズをはじめラグジュアリーブランドの大型店が主ですが、ここのみゆき通りは小ぶりの素敵なお店が並びます。

2つ目の信号の処がお店の中が透けて見えるガラスのビルのプラダですが昔はどんなビルだったか思い出せません。プラダの向かいのモンクレールのお店は以前友人がいたブラスティックススタジオという店舗デザイン設計の事務所でした。その友人が設計したシユロス青山というイタリア風の建物がヨックモックの向かい側に出来たときは、友人の能力にびっくりし、喜んだ思い出があります。

通りの突き当りは根津美術館ですがその手前にある青南小学校の向かいに赤茶レンガの重厚なビルがあります。これが1975年に出来、山下和正という人が設計し建築学会賞を受賞したという、今回のフロムファースト青山です。

40年も前に建てられたとは思えない素敵なビルです。重厚な割には多くの出入り口がある開放的なビルで、ビルの階と一階に誰もが休める背中合わせの長椅子がある思いやりのあるビルで、個人的には青山で一番好きなビルです。

何年前か、2階に当社とも取引のあった高級テーラーさんが入っていました。現在は今治タオルのお店がはいりました。

そこにしてもプロデューサーの浜野安宏氏はあの時代に今の青山を予見していたのでしょうか？自然が大好きで、スケールの小さい日本をこびだし、アメリカワイオミングのグランドテートンに居を移すなど桁違いの行動力がうらやましくとても尊重していました。フロムファーストのあと、キャットストリートや博多のグランドキャナル街づくりをプロデュースする能力は凄い！の一言です。

ここを皮切りに。80年代、DCブランドのビギンイッセイミヤケ、Y's、ニール、コムデギャルソンなどの店が次々と出て、78年に出来たヨックモックなどの店とマッチしてお洒落なファッションストリートになりました。

その頃の表参道通りは地震が来たら壊れそうな古い同潤会アパートに、マニヤックなお店がある程度の地味な通りで、ここからファッションの青山がスタートしたと言っても過言ではないでしょう。



コットン100%・レディス

鹿の子ポートネック分袖

2137-1287 ¥23,760(税込)

ソフトでしなやかな肌触りが特徴のスーピマ綿(アメリカ産で最高級の品質を誇るピマ・コットン)を使用。ふくらみのあるカノコ編みのポートネックセーターです。デイリーに着まわしやすいカジュアルなデザインが魅力です。



コットン100%・レディス

2x2リブポートネック・プルオーバー

1237-1288 ¥23,760(税込)

ソフトでしなやかな肌触りが特徴のスーピマ綿(アメリカ産で最高級の品質を誇るピマ・コットン)を使用。伸縮性のあるリブ編みのポートネックセーターです。弾力のある編地で、女性らしくすっきりとした細身のシルエットでスマートに着こなしていただける一枚です。



カシミア100%・小物

天使のマフラー

1312-3299 ¥12,960(税込)

UTOベストセラーアイテム「天使」シリーズのマフラー。小ぶりのサイズが人気です。男性のスーツの襟元にもかさばらず、またお子様でも使いやすいサイズで、ご家族で使用できます。天使シリーズならではの軽さとぬくもりを感じられるアイテム。永く愛用するほどにふんわりと滑らかな風合いへと変化していきます。



カシミア天使の栞の物語

カシミアとニットの話 * (六十三)

東日本大震災被災者支援

当社は、2011年10月に山梨から岩手に工場を移転しました。当時東北地方は東日本大震災にみまわれた半年後の混乱状態で、比較的被害の少なかった北上市には、沿岸部から600名近い方が避難しておられました。

新参者の私たちも企業市民として何かできることはないかと考え、ふるさと納税で寄附を頂くことに当社が100円を募金することで、東北の寒い冬を越すための灯油代の足しにでもと、北上市を通して寄附を始めました。同時に、カシミアのアップルも含めて、世界一柔らかい「天使の栞」を作って販売し、これも一枚売れる度に100円を寄付することにしました。

寄附をするのは今年で7年目で、合計すると200万円近くになりますが、避難者の方から「北上には雪が多く寒さも厳しいのでとても助かる」と、感謝の言葉を頂いているそうです。

*けっこう大変、栞の作り方

この「カシミア天使の栞」は、当社の社員が本体の色と、ふさの色の組み合わせを考えながら1枚1枚手作りしています。1枚500円ほどのコストがかかりますが300円で販売しています。もちろん100円は被災者への支援として募金させていただきます。

*ネットで販売を開始

ネット販売の楽天では、販売手数料、決済手数料、郵送料で少なくとも200円はかかりますので、赤字は最初から仕方ない、この天使の栞で震災に遭われた被害者の方にはよっとでも手助けができ、UTOのカシミアを知って頂く機会があれば御の字だと思っております。

おひとり30枚も購入して下さる方がいらつしやいました。差支えなければ「何に使っていたか」を聞いてみるのをお聞きしたら「生徒たちにひとりひとり渡します」と仰る中学校の先生でした。感謝感謝です。

寄附年	金額
平成24年	78,600円
平成25年	130,200円
平成26年	91,300円
平成27年	130,100円
平成28年	400,000円
平成29年	400,000円
平成30年	400,000円
平成31年	300,000円
合計	1,930,200円

*ミュージアムショップでも販売

ありがたいことに昨年からは、美術館や博物館などのミュージアムショップで販売していただけたところが出てきました。

販売いただいているミュージアムショップ & 本屋さん

- 山形県天童市・広重美術館
- 東京都世田谷区・世田谷文学館
- 岐阜県関市・フェザーミュージアム
- 京都市・清水三年坂美術館
- 京都・一乗寺の本屋さん、恵文社

今年ももっと多くの処で販売頂けるように、頑張っているミュージアムショップなどにアプローチしていきたいと思っております。残念なことにあんなに悲惨な東日本大震災も時が経つにつれて次第に記憶も薄れ、寄附も少なくなってきたように思います。東北岩手の地でモノづくりをする者として、会社が続いている間は、微力ですが支援を続けたいと思っております。



東北復興支援 「カシミアのしおり」

おる旅の 高かおる 兼世 想い出



海外旅行番組の先駆け、「兼高かおる世界の旅」の、兼高かおるさんが、今年(2019年)1月5日にお亡くなりになりました。90歳だったそうです。彼女は、私の人生にとっても大きな影響を与えてくれました。

「兼高かおる世界の旅」は、1959年から90年までTBS系で約30年間放送された凄い番組です。番組が始まった59年は、田舎の我が家にテレビがやってきたのと同様頃です。小学生だった日曜の朝、パンアメリカンの機影と主題歌の「80日間世界一周のテーマ」が流れてくると田舎の島原で釘付けになりました。

パンアメリカン、三井グループのスポンサーで、番組の終わりに香港のマンダリンホテルが映っていたと思います。憧れのヨーロッパ。木造の日本とは全く違う重厚な石造りの建物。街や教会。鼻が高く、ウェーブの髪でスタイリッシュな人々。桁違いに雄大な大自然や摩天楼のアメリカ。親近感のある顔の東南アジアの人々と独特の生活文化。当時はほとんど情報がなく未知の世界だったイスラムやアフリカの国々。今は全く違う時代に未知の世界を垣間見せてくれた番組です。

うら若き女性がたった一人で颯爽と世界を飛び回る。「なににですのよ」という彼女独特のお上品な語り口調が田舎の小僧にはとても印象的でした。「世界にはなんと魅力的な処が沢山あるんだ!」「あんな処に行ってみよう!」「何時の日かあの地球儀のマークのパンナムに乗って海外に行くぞ!」と、幼心に決めました。

当時海外旅行は夢のまた夢の時代で、「100問正解して夢のハワイに行こう!」というテレビ番組が人気で、100問正解者は羨望の的で日本航空のステュワードさんが「つる」のマークの入ったバッグを渡す光景を羨望の眼差して見ていました。その時旅に目覚め一直線で最初の就職先が海外旅行の会社でした。

幼い頃からの願いが叶い旅行屋になって海外に添乗をする機会があっても、世界のパンアメリカンに乗る機会はなく、初めてパンナムに乗れたのは1977年、ケニアのナイロビからナイジェリアのラゴスに飛んだ時でした。

そのパンナムのナイロビ支店で予約したナイジェリアのチップトップという最悪のホテルで散々な目にあったおまけがありました。

世界のホテルを旅する(六十三)

元 旅行屋のお勧め キャメロンハイランド・マレーシア

キャメロン・イン

1970年の半ば頃、小学校の頃から蝶の研究者になりたい夢が心の隅に残っていた旅行屋の頃です。喫茶店で蝶仲間と、夢の海外での蝶採集の話で盛り上がり、そのころの海外の蝶の聖地は、台湾の捕里(プーリ)、マレーシアのキャメロンハイランド、南米のアマゾン川流域でした。

当時旅行屋だった私が、海外添乗の合間にタイやシンガポール等で網を振った話をして、日本の図鑑には載っていない蝶を採集した話をしたのを機に話が盛り上がり、「是非、海外に連れて行ってよ!」「添乗員付きならどこでも行きたい!」「行くしかない!」と、瓢箪から駒の話が実現することになりました。

クアラランプールで1泊し、レンタカーを借りてキャメロンハイランドへ。強烈な太陽の下を2時間ぐらい走った処で凄いスコールに遭遇。前が見えないような豪雨にしばし路肩に車を止めて待機。そして雨が上がった道路には強烈な太陽で湯気が立ち上り一面の霧状態。経験したこともない熱帯の自然に度肝を抜かれました。

キャメロンハイランドは日本でも言ったら軽井沢のような処。暑さに弱いイギリス人が避暑地として開発した高原リゾートです。緑のゴルフ場に英国調のホテル。そんなハイソには見向きもしないで蝶に突進。「蝶王」という看板の店に入り、自称「蝶王」のおじさんにガイドをお願いしました。1日100米ドルだったと思います。賈沢にも自分たちだけで雇ったガイド付きの蝶の採集。日本ではお目にかかれない多くの蝶を採集した夢のような2日間でした。いい大人がワクワクドキドキしながら蝶を追いかけられる様を想い出すと、今では自分でもちょっと笑える光景です。

自称「蝶王」のおじさんに紹介してもらったキャメロン・インは、こじんまりした平屋の英国スタイルの、ホテルというよりペンションのような宿でした。いまネットで検索しても出てこないの廃業してしまっただけかもしれません。値段を聞いてびっくり、「マレーシアで4ドル!」「間違いないの?」「500円も少ないの!」。前日のクアラランプールヒルトンはツインでUS120ドル、それが当然と思っていたので嬉しい驚きでした。



シャワーしかなく、お湯も出ませんでした。外は暑いので全然気にもならず、「だって!500円しないんだよ!」とみんなで笑って済ませた楽しいホテルでした。